

別記様式第3号 実務研修記録

日数	研修者名	●● ××	研修実施者 (遊漁船業務主任者)	氏名	○○ ××
	実施日	実施時間		業務の形態 ※1	実施海域
1	○年○月○日	○時○分～○時○分	瀬渡し	○○沖△△瀬	1、2、3
2	○年○月○日	○時○分～○時○分	瀬渡し	○○沖△△瀬	1、2、 3、4、5
3	○年○月○日	○時○分～○時○分	瀬渡し	○○沖△△瀬	1、2、3
4					
5					
6					
7					
8					
9	<p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日につき5時間以上実施すること</li> <li>・業態ごと（船釣り、瀬渡し、体験漁業）に30日以上実施すること</li> <li>・習熟度確認は2日以上実施すること</li> </ul>				
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

※1：業務の形態は、船釣り、瀬渡し、その他（具体的に）のいずれかを記載。  
 ※2：研修内容は、別紙の項目の数値を記載。

(別紙)

項目	内容
1. 利用者の安全管理	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 出航前検査</li><li>・ 救命設備・通信設備の使用方法</li><li>・ 利用者に対する遵守すべき事項や出航中止、帰港基準等の説明</li><li>・ 営業中の利用者数の確認</li><li>・ 気象・海象等の情報の収集方法</li><li>・ 海域の特性（水温、波高）に応じた安全管理</li><li>・ 業態（船釣り、瀬渡し、漁業体験等）や案内する漁場における水産動植物の採捕に係る安全管理 等</li></ul>
2. 漁場の選定	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 漁場の選定に係る情報収集</li><li>・ 魚群探知機等の使用方法の習得 等</li></ul>
3. 利用者への指導・助言	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 水産動植物を採捕するための指導及び補助（釣り方、磯渡しの仕方、安全確認等）</li><li>・ 乗客が採捕した水産動植物（特にクロマグロ等採捕報告が義務付けされているもの）の確認及び国が行う採捕量調査への協力の依頼 等</li></ul>
4. 気象等が悪化した際の対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 連絡体制、対応手順の確認</li><li>・ 漁場ごとの避難港の確認</li><li>・ 落水者の発生を想定した定期訓練の実施（研修期間内に1回以上実施）</li></ul>
5. その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 乗務記録の作成手法</li><li>・ 関係法令等の知識の習得</li><li>・ 上記に関連した業務 等</li></ul>
6. 習熟度確認	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1～5の内容について習熟度を確認</li></ul>

## 実務研修習熟度確認表

項目	内容	業態		
		船釣り	瀬渡し	その他
利用者の安全管理	出航前検査	✓		
	救命設備・通信設備の使用方法	✓		
	利用者に対する遵守すべき事項や出航中止、帰港基準等の説明	✓		
	営業中の利用者数の確認	✓		
	気象・海象等の情報の収集方法	✓		
	海域の特性（水温、波高）に応じた安全管理	✓		
	案内する漁場における水産動植物の採捕に係る安全管理	✓		
漁場の選定	漁場の選定に係る情報収集	✓		
	魚群探知機等の使用方法の習得	✓		
利用者への指導・助言	水産動植物を採捕するための指導及び補助	✓		
	乗客が採捕した水産動植物（特にクロマグロ等採捕報告が義務付けされているもの）の確認及び国が行う採捕量調査への協力の依頼	✓		
気象等が悪化した際の対応	連絡体制、対応手順の確認	✓		
	漁場ごとの避難港の確認	✓		
	落水者の発生を想定した定期訓練の実施（研修期間内に1回以上実施）	✓		
その他	乗務記録の作成手法	✓		
	関係法令等の知識の習得	✓		
	上記に関連した業務	✓		